

体育施設の照明代を減免せよ

黒田政徳議員 スポーツ少年団や体育協会についても照明代を減免しないということですが、減免を受けている団体は町から補助金をもらっている団体です。生涯にわたる運動を支援していくのも行政の仕事だと思いますの

中津公民館長 補助対象になっっている団体であっても、経費はある程度かかるということを認識していただく時期にきていると考えます。



サッカースポーツ少年団（総合グラウンド）

接客サービスを改善できないか

中津伸一議員 ニッ沼総合公園の指定管理者に広野町振興公社を指定しましたが、パークゴルフ場の運営に当たっては、利用者「また来てみたい」「なかなかいいコースで整備もされている」「従業員の対応もいい」と言ってもらえるよう、維持管

塚越副町長 専門講師を招いた接遇研修の実施や、従業員の中で横の連携をはかり思案を練るなど、交流人口の増加に努めているところです。



パークゴルフを楽しむ愛好者



大吹地区宅地開発計画面

財政力に見合った事業展開を

中津伸一議員 小規模宅地開発事業が存目で1000円計上されていますが、この事業に電源3法交付金を充てることはできるのですか。

工事費を借り入れるにしても、貯金を取り崩すにしても、他の工事との均衡をはかり、慎重に進めるべきではないですか。

根本企画グループリーダ 事業費は概算で3000万円から4000万円を見込んでいますが、電源交付金事業を充当することはできません。

最終的には庁内で協議して、一般財源で対応するか、それとも借り入れ制度を利用するか、そのへんを十分検討した中で工事費に対する財源確保を検討していきます。

改善策を講じているのか

鈴木正範議員 高医療費町に指定され、平成22年度からは国民健康保険の安定化計画市町村にも指定されました。これまでも、フォースト1だとがフォースト2だと言われてきました。が、過去2年間においてはどのような改善策を講じてきたのですか。

青木町民保健グループリーダ 特定検診をはじめとして、高齢者のスポーツ大会、健康ウォーク、医療費分析を行っています。今後は県が中心となって医療費分析を行うほか、これまでの医療費分析の結果を活用して健康づくり計画にそって、いろいろな部門と一体となって、スポーツ大会や料理教室なども開催していきたいと考えています。



男の料理教室（保健センター）

平成22年度 後期高齢者医療特別会計予算

討論の末 10対1で

可決

反対 畑中女子議員

この医療制度は保険料がかぎりなく上がる

後期高齢者医療制度は保険料がかぎりなく上がっていくことから、すぐにも廃止しなければなりません。

この予算についても、この制度を維持していくために組まれた予算である以上、反対します。

賛成 鈴木紀昭議員

これに代わる医療制度が確立されていない

この議案を否決すれば、これに代わる医療制度が確立されていないことから高齢者に対して大きな不安と混乱を生じさせることになります。

また、先に議決した一般会計予算からの繰入金もあるので賛成すべきです。

反対 畑中女子議員

老人保健制度をなくすことは容認できない

老人保健制度は、後期高齢者医療制度を廃止して戻すべき制度です。

この制度を無くすということは、私の主張と相容れないものでありますので、この予算を認めるわけにはいきません。

賛成 中津伸一議員

ここは地方自治の場であり、国会ではない

広野町に住んでいる方が安心して医療機関にかかれる制度です。

ましてここは地方自治の場であり、国会ではないわけですから賛同すべきです。